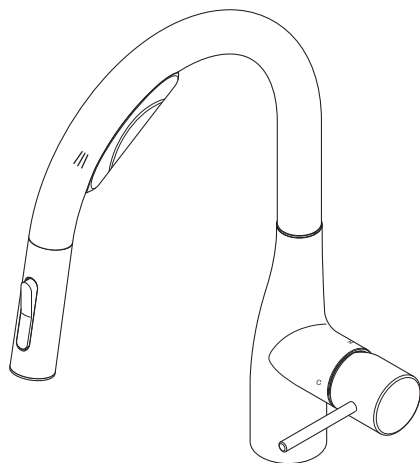


取扱説明書

ビルトイン浄水器用シングルシャワー付混合栓(センサー)

品番 **KM6092DEC** 〈各仕様共通〉



- このたびは、当社商品をお買い上げいただきありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 保証書に、販売店名・取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。

商品概要	1
------	---

安全上のご注意	2-11
---------	------

各部の名称	12
-------	----

ご使用の前に	13-14
--------	-------

使いかた	15-23
------	-------

乾電池の交換方法	24-25
----------	-------

凍結予防のしかた	26
----------	----

日常のお手入れ	27-29
---------	-------

定期的な点検	30
--------	----

定期的な部品交換	31
----------	----

故障かなと思ったら	32-34
-----------	-------

仕様	35
----	----

アフターサービス	36
----------	----

保証書

裏表紙

はじめに

使いかた

お手入れ

こんなときは

商品概要

1 湯水センサー

湯水センサー(≡ 側センサー)に手をかざすと、湯水の吐水・止水ができます。

※流量・温度の調節はレバーハンドルにて行います。


- 「出し止め方法」(15ページ)参照

2 浄水センサー

浄水センサー(▮ 側センサー)に手をかざすと、レバーハンドルの位置に関わらず、浄水の吐水・止水ができます。

- 「出し止め方法」(15ページ)参照

3 浄水カートリッジ交換時期のお知らせ

浄水カートリッジの交換時期が近づくと、「カートリッジ交換表示()」が点滅してお知らせします。

- 「浄水カートリッジの交換」(21ページ)参照

4 乾電池交換のお知らせ

乾電池の残量が少なくなると、湯水・浄水センサーの表示が赤点滅してお知らせします。

- 「乾電池の交換方法」(24ページ)参照

5 シャワーヘッドの引き出し

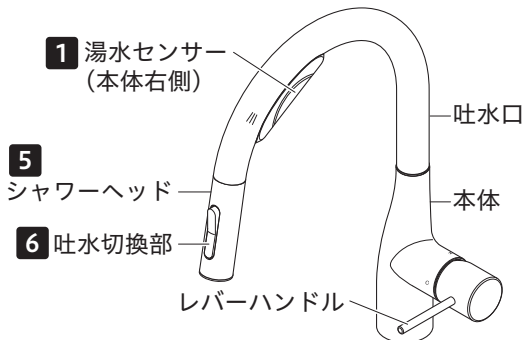
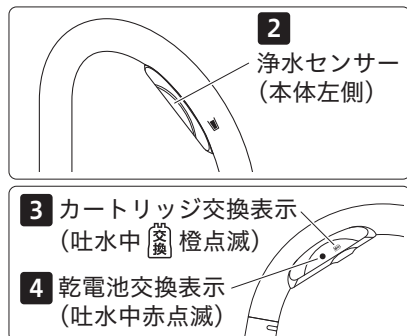
シャワーヘッドは引き出してお使いいただけます。

- 「シャワーヘッドを引き出す」(19ページ)参照

6 吐水の切換

シャワーヘッドの吐水切換部で、シャワーとストレート吐水を切り換えることができます。

- 「吐水の切換方法」(20ページ)参照



※品番によっては、図と形状が一部異なります。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡または重傷」に結び付く可能性があります。



注意 「傷害または物的損害」に結び付く可能性があります。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。



「分解禁止」の内容です。



「接触禁止」の内容です。



「水場使用禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

やけど
けが
破損
漏水
火災
感電

記載事項を守らなかった場合に生じるおそれのある事態を示しています。

やけど、漏水をした場合の処置

やけど やけどをした場合は、すぐ、その患部に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。

漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓をしめてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

はじめに

警告

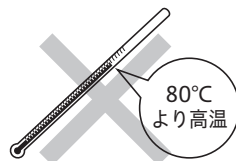


禁止

やけど
破損
漏水

給湯温度は80℃より高温で使用しないでください。給湯器の給湯温度は60℃以下の設定をおすすめします。

80℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

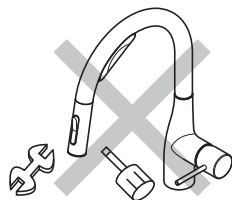


禁止

やけど
けが
破損
漏水

この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずし等の改造はしないでください。

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

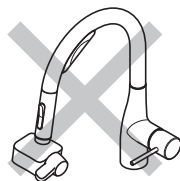


禁止

漏水

止水機構を持った市販浄水器具や止水機構を持った後付けの水栓ユニット等の取り付けはしないでください。

給湯器へ逆流したり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また、吐水口のパッキンが摩耗し、寿命が短くなることがあります。

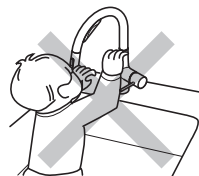


禁止

やけど
けが

小さいお子様だけの使用は避けてください。

やけど・けがをするおそれがあります。

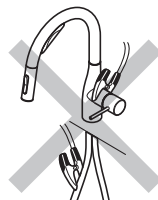


禁止

破損
漏水

配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。

通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

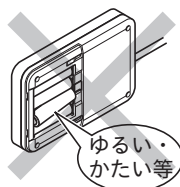


禁止

火災
感電

乾電池の取り付けがゆるい場合や、かたい場合は使用しないでください。

火災や感電の原因になります。



警告

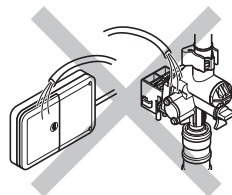


禁止

火災
感電

湯水および浄水電磁弁ユニットや配線接続部、電池ボックスには水をかけないでください。

火災や感電の原因になります。



禁止

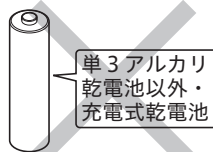
火災

指定する電源(単3アルカリ乾電池)以外では使用しないでください。

また、充電式乾電池は使用しないでください。

火災の原因になります。

充電式乾電池を使用した場合、使用可能な期間が短くなります。

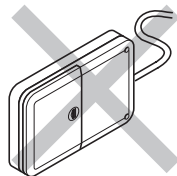


禁止

火災
感電

コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加熱したりするようなことはしないでください。

感電・ショート・火災の原因になります。

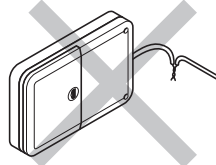


禁止

火災
感電

コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。

感電・ショート・火災の原因になります。

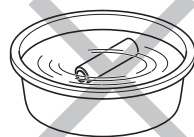


禁止

火災
感電

乾電池を水の中に入れてしないでください。

感電・ショート・火災の原因になります。

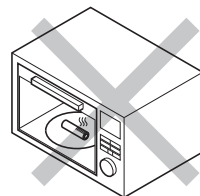


禁止

火災

乾電池を加熱したり、火中に投げ入れないでください。

火災の原因になります



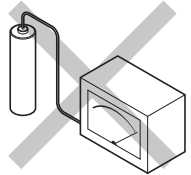
はじめに

警告



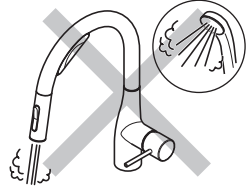
禁止
破損
火災

乾電池を充電しないでください。
火災や故障の原因になります。



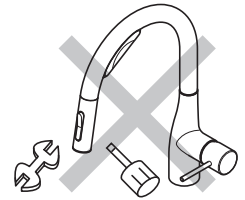
禁止
やけど

他所の水栓と同時に使用しないでください。
水圧変動により湯温が急上昇し、やけどをするおそれがあります。



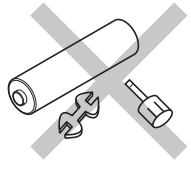
分解禁止
やけど
けが
破損
漏水

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止
破損
火災

乾電池を分解したり、加工・改造はしないでください。
漏電・破裂・火災・故障の原因になります。



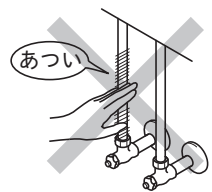
接触禁止
やけど

水栓本体は直接触れないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。



接触禁止
やけど

キャビネット内の湯側配管は直接触れないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。

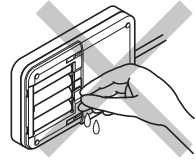


警告



接触禁止
感電

濡れた手で乾電池を交換しないでください。
感電の原因になります。



水場使用
禁止
破損
感電

浴室などの湿気の多い場所には設置しないでください。
故障や感電のおそれがあります。



必ず実行
漏水
火災
感電

水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。

部品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因になったり、体調を損なうおそれがあります。



水道水および
飲用可能な井戸水



必ず実行
やけど

湯水を使うときは、水側で吐水してからゆっくりと湯側へ回し、手で適温かどうかを確かめてから使用してください。

確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



必ず実行
やけど

レバーハンドルで湯温を確かめてから吐水してください。

確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



必ず実行
やけど

高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流してください。

次に使用する時、水栓内に残っている高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



はじめて

警告



必ず実行
やけど

お湯を使用した後で次に使用する時は、しばらく吐水させてからお使いください。しばらく吐水させないと、温度変化によりやけどをするおそれがあります。



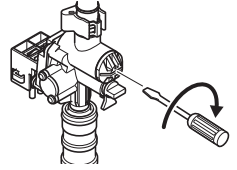
湯温が安定してから



必ず実行
漏水
やけど

ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側止水栓が熱くないことを確認してください。

高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



⚠ 注意



禁止

けが
破損
漏水

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。

器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

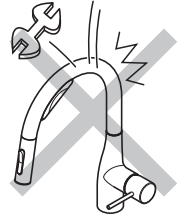


禁止

破損
漏水

器具に強い力や衝撃を与えないでください。

器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

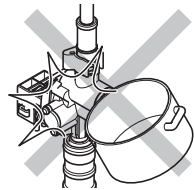


禁止

漏水

電磁弁ユニットに強い力や衝撃を与えないでください。

誤作動の原因となり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

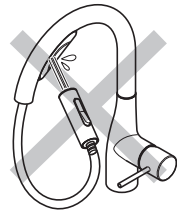


禁止

漏水

本体の開口部やセンサー部へ直接湯水をかけないでください。

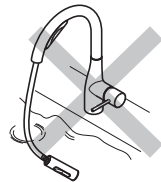
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

シャワーホースやシャワーヘッドは湯水に浸けたまま放置しないでください。

湯水が逆流するおそれがあります。



禁止

けが

めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。

鋭利な物や硬い物を当てないでください。めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。



⚠ 注意



禁止
破損

センサー面を傷つけないようにしてください。

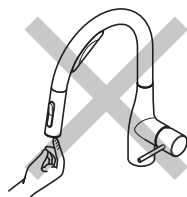
器具が破損したり、誤作動するおそれがあります。



禁止

シャワーヘッドの浄水出口は清潔を保つため、汚れた手で触らないでください。

飲料水に適さない水が流出し、体調を損なうおそれがあります。



禁止
破損
発火
感電

トイレ用洗剤・住宅用洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・トイレ用ウェットティッシュ・クレンザー・クレゾールを使用しないでください。

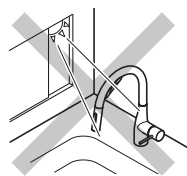
発火・ショート・感電・故障の原因となります。



禁止
故障

直射日光が当たる場所でのご使用はおやめください。

誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。



必ず実行
けが

めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。

けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。



必ず実行

センサー面に付着した汚れや水滴は拭き取ってください。

センサー面に汚れや水滴が付着していると誤作動するおそれがあります。



⚠ 注意



必ず実行
漏水

レバーハンドルはゆっくり操作してください。

急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行
故障

乾電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

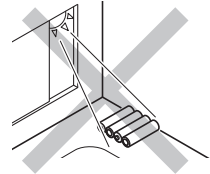
漏液した乾電池は使用しないでください。漏れた液をきれいに拭き取らないと、故障の原因になります。



必ず実行
故障

乾電池は直射日光・高温多湿を避けて保管してください。

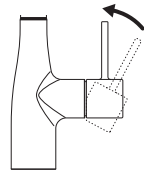
湿度が高いと乾電池に露(水分)が付き、ショートすることがあります。また、高温下に長い間放置すると性能が低下します。



必ず実行
故障
漏水

使用後はレバーハンドルを閉じてください。

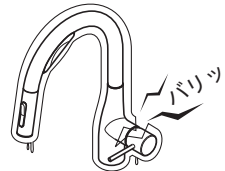
器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行
破損
漏水

凍結が予想される際は、少量の水を出しておくか、配管に布などを巻くなどして、凍結を防止してください。

凍結を防止しないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行
漏水

必ず当社専用浄水器用カートリッジをご使用ください。

他のカートリッジを使用すると、本来の性能が得られないかたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



は
じ
め
に

⚠ 注意



必ず実行

毎日浄水の使い始めは、約10秒間浄水を流してからお使いください。

浄水カートリッジ内および水栓に残っていた水によって、体調を損なうおそれがあります。



必ず実行

浄水を2日以上使用しなかった時は、1分以上浄水を流してからお使いください。

浄水カートリッジ内および水栓に残っていた水によって、体調を損なうおそれがあります。



必ず実行

浄水カートリッジ交換後は、1分以上浄水を流してからお使いください。

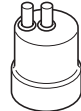
交換直後は浄水カートリッジの性能が十分発揮されないことがあります。なお、流量が安定するまで2～3分かかる場合があります。



必ず実行

浄水カートリッジは定期的に交換してください。

適切な交換時期を過ぎると、浄水性能が低下します。水質・使用水量・使用水圧によって異なりますが、12か月以内を目安に交換してください。



交換時期の目安は12ヶ月以内

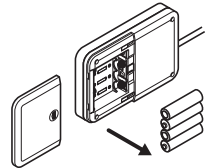


必ず実行

破損

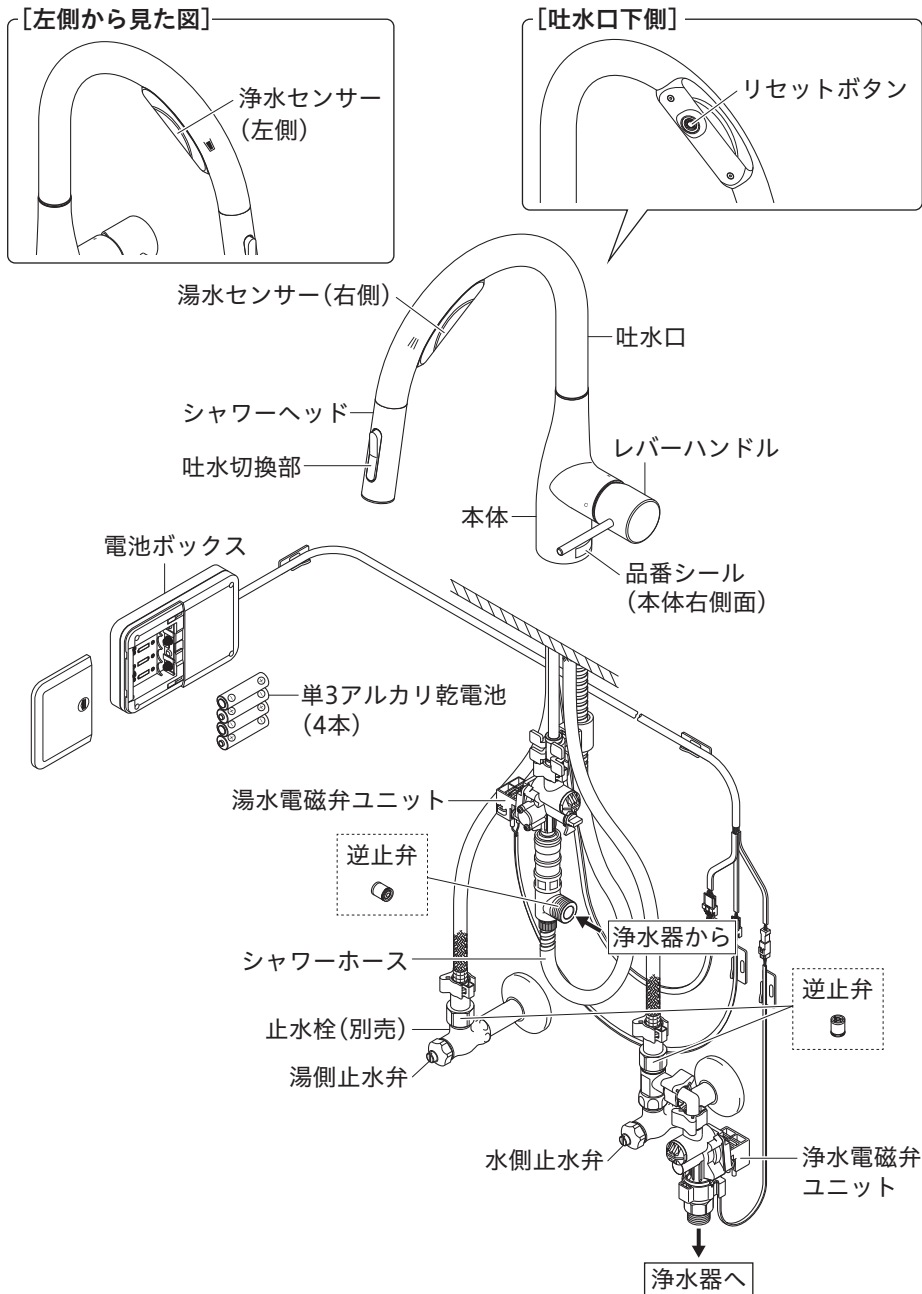
長期間使用しない場合は、電池ボックスから乾電池を抜いてください。

誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。



各部の名称

品番によっては、図と形状が一部異なります。



|| ご使用の前に

1 給湯器使用上のご注意

- ・やけど防止のため、給湯器の給湯温度は60°C以下の設定をおすすめします。
- ・吐水量が少ない場合、給湯器が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)

2 電源の確認

- ・ご使用前に、乾電池が電池ボックスに正しく取り付けられていることを確認してください。(25ページ「乾電池の交換方法」参照)
- ・同梱されている乾電池は動作確認用です。お早めに新しい乾電池にお取り替えてください。

3 浄水カートカートリッジの接続

ご使用前に、浄水カートリッジを接続してください。

浄水カートリッジ接続後、必ずリセットボタンを長押しして、浄水カートカートリッジ交換時期をリセットしてください。

交換時期をリセットしないと、交換時期の目安より早く「浄水カートリッジ交換表示」が点滅することがあります。

- 接続方法の詳細は「浄水カートリッジの交換」(22ページ)および浄水器に同梱の説明書を参照してください。

4 保護フィルムをはがす

- ・センサー部に保護フィルムが付いている場合は、はがしてからお使いください。
- ・保護フィルムがセンサー部に残っていないことを確認してください。

|| ご使用の前に

5 止水栓による流量の調節方法

流量が多すぎる場合などは、下記の方法で止水弁を操作して流量を調節してください。

- ① レバーハンドルをクリック手前まで開きます。
- ② 湯水センサーを感知させます。
- ③ 止水弁で適量(湯側・水側それぞれが5L/min程度)になるように流量を調節します。

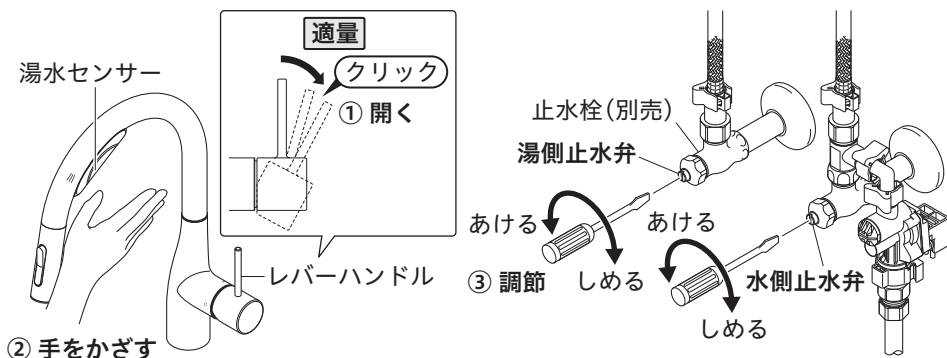
止水弁を時計回りに回すと流量が少なくなり、いっぱいまで回すと止水します。

また、反時計回りに回すと流量が多くなり、いっぱいまで回すと最大流量になります。

※水圧が低く、クリック手前で適量が得られない場合は、止水弁を最大流量にしてください。

※水側止水弁で水の流量を調節すると、浄水の流量も同時に変動します。

※浄水センサーによる吐水は、定流量弁が内蔵されているため、一定の流量以上は出ません。



使
い
か
た

使いかた

1 出し止め方法

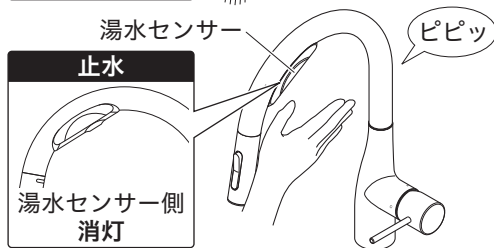
湯水を吐水する

- レバーハンドルを開きます。
 - 湯水センサー(Ⅲ側)に手をかざします。自動的に湯水が吐水します。吐水時に「ピッ」と音が鳴ります。
- ※湯水吐水表示(湯水センサー側白表示)は10回点滅した後、止水するまでゆっくり点滅し続けます。



湯水を止水する

- 湯水センサー(Ⅲ側)に手をかざします。自動的に止水します。止水時に「ピピッ」と音が鳴ります。



使用後は必ずレバーハンドルを閉じてください。

注意 ご使用前に適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

使いかた

浄水を吐水する

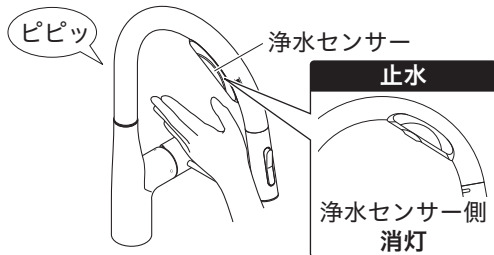
- 浄水センサー(Ⅳ側)に手をかざします。自動的に浄水が吐水します。吐水時に「ピー」と音が鳴ります。
- ※浄水時は、ストレート吐水を使用してください。シャワーは散水が乱れる場合があります。
- ※浄水吐水表示(浄水センサー側青表示)は10回点滅した後、止水するまでゆっくり点滅し続けます。



- ※低圧時には、浄水がきれいに流れなくなります。(圧力の目安：流動時0.1MPa以下)

浄水を止水する

- 浄水センサー(Ⅳ側)に手をかざします。自動的に止水します。
- ※浄水はレバーハンドルの位置に関わらず吐水・止水が可能です。

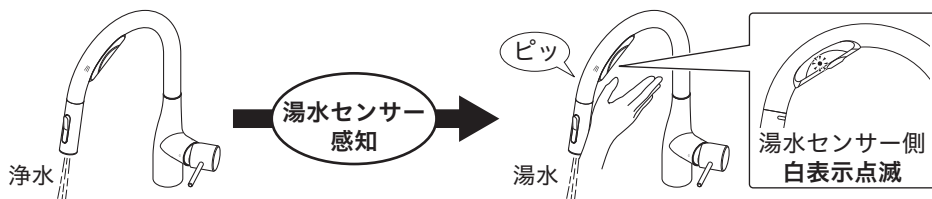
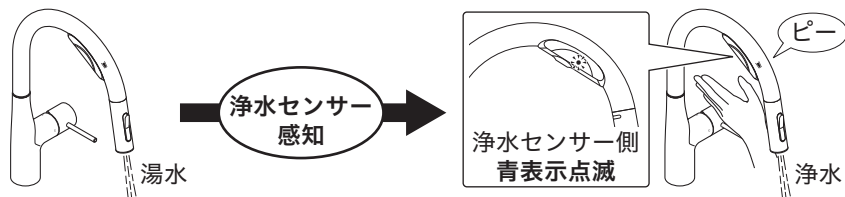


注意

- シャワーヘッドの浄水出口は清潔を保つため、汚れた手で触らないでください。飲料水に適さない水が流出し、体調を損なうおそれがあります。
- 浄水の使い始めは、毎日10秒間浄水を流してからお使いください。残留水によって、体調を損なうおそれがあります。

使用かた

湯水吐水中に浄水センサーを感知すると、浄水の吐水に切り換わります。
 また、浄水吐水中に湯水センサーを感知すると、湯水の吐水に切り換わります。
 どちらが吐水されているかは、センサー部の表示や操作音で確認してください。



吐水中の表示と操作音

表示	湯水吐水中		浄水吐水中	
	浄水側表示	湯水側表示	浄水側表示	湯水側表示
	消灯	白点滅	青点滅	消灯
操作音	10回点滅後、止水するまでゆっくり点滅		10回点滅後、止水するまでゆっくり点滅	
	吐水時：ピッ / 止水時：ピピッ		吐水時：ピー / 止水時：ピピッ	

※いずれの吐水も、吐水状態が10分間継続すると自動的に止水します。

※センサーに3秒以上手をかざし続けると自動的に止水します。

吐水させたい時はもう一度手をかざしてください。

※濃い色合いの物にはセンサーが反応しない場合があります。



使いかた

乾電池残量減少時の表示について



乾電池の交換時期が近づくと、湯水・浄水の吐水時に吐水側の赤表示がします。点滅後もご使用いただけますが、お早めに新しい乾電池と交換してください。(25ページ「乾電池の交換方法」参照)

※表示は10回点滅した後、止水するまでゆっくり点滅し続けます。

※赤色点滅後もそのまま使用し続けると表示が消灯し、センサーでの吐水・止水ができなくなります。(センサーに手をかざした時、警告音が鳴ります。)

乾電池残量減少		センサー
	湯水吐水中	
表示	 湯水センサー側 赤表示点滅	 浄水センサー側 赤表示点滅
操作音	ピッ	ピー

吐水

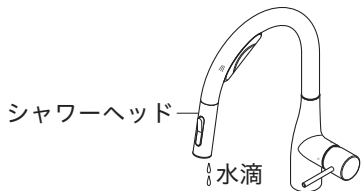
乾電池残量なし		センサー
	湯水止水	
表示	 湯水センサー側 消灯	 浄水センサー側 消灯
操作音	ピピピピピッ	

止水

使いかた

止水時の水滴について

止水した時、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーホース内の残留水です。異常ではありません。



ご使用時のお願い

●センサーの感知距離内に障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。また、インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動する場合があります。



●センサー部に汚れや水滴が付着した場合は拭き取ってください。汚れの付着や、湯気や水はねで水滴が付着すると誤作動の原因になったり、感知しにくくなったりします。



使いかた

2 温度調節方法

レバーハンドルを回します。

手前側から中央まで水が出ます。

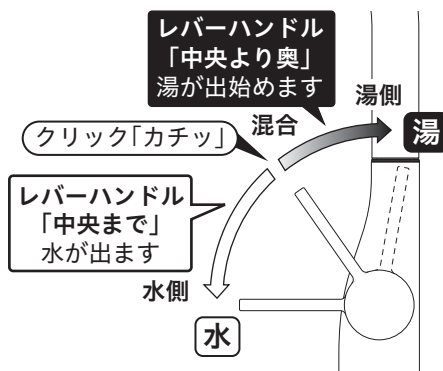
中央より奥へ回すと次第に湯が出始めます。湯が出始める位置にクリックを設けています。(無駄なお湯を使わないためのご提案です。)

※浄水センサーで吐水した場合は、水のみ使用可能です。レバーハンドルで浄水の温度調節はできません。



警告

湯水を使うときは、水側で吐水してから、ゆっくり高温側へ回して、手で適温かどうか確かめてから使用してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



3 量の調節方法

レバーハンドルを左右に動かします。

右へ動かすほど湯水の流量が増します。

クリックを超えると全開吐水になります。

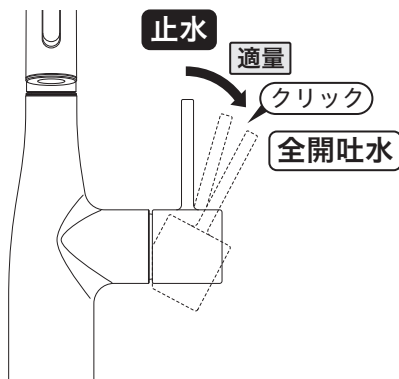
普段はクリック手前で使用し、たくさんの量を使用する場合は全開吐水(クリックを超えた位置)でご使用ください。

(必要以上の水を使わないためのご提案です。)

※水圧が低い場合、クリック手前では吐水量が少なく吐水が乱れたり、湯側にしても給湯器が着火しない(低温しか出ない)ことがあります。その場合は、全開吐水の位置でご使用ください。

※クリックから全開吐水(全開吐水からクリック)操作する際、吐水温度が多少変動する場合がありますが異常ではありません。

※浄水の流量はレバーハンドルで調節できません。流量を調節する場合は水側止水弁を操作してください。止水弁を操作すると、湯水センサー感知時の流量も変動します。(止水栓による流量の調節方法 参照)



使いかた

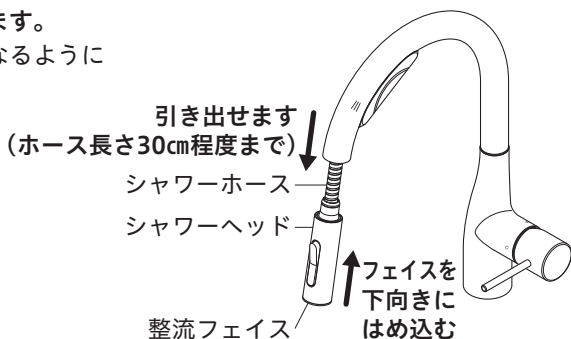
使用後は必ずレバーハンドルを閉じてください。

使いかた

4 シャワーヘッドを引き出す

シャワーヘッドは引き出して使えます。

使用後は整流フェイスが下向きになるようにはめ込んでください。



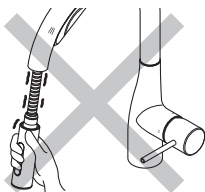
注意

ご使用時は、下記の内容に注意してください。

器具が破損し、けがをしたり、漏水等による財産損害発生のおそれがあります。

- シャワーヘッドを引き出し過ぎないでください。

ホースが戻しにくくなったり、ホース損傷による漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



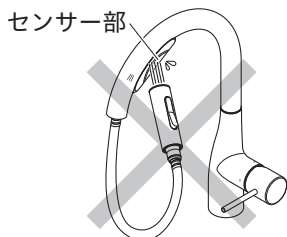
- 本体の開口部へ直接湯水をかけないでください。

漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



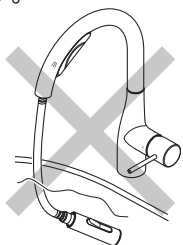
- センサー部へ直接湯水をかけないでください。

誤作動の原因になります。また、キャビネット内に水が浸入する場合があります。



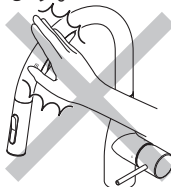
- シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。

水が逆流するおそれがあります。



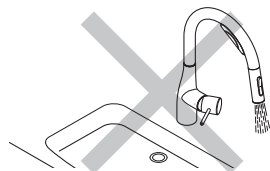
- 吐水口を左右に振る際、回転方向に無理な力を加えないでください。

器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



- 吐水口がシンクより飛び出すような使用はしないでください。

シンクの外に吐水が飛び出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



使いかた

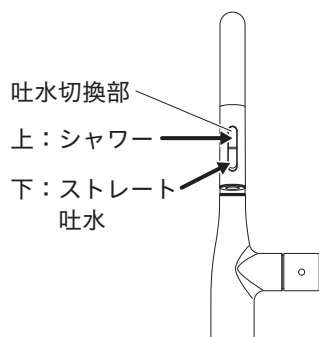
5 吐水の切換方法

吐水切換部を押します。

上を押すとシャワー、下を押すとストレート吐水になります。

【お願い】吐水切換はシャワーヘッドを持った状態で行なってください。

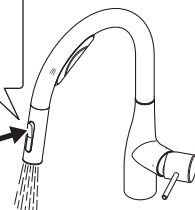
シャワーヘッドが破損するおそれがあります。



ヘッドを持った状態で切換操作



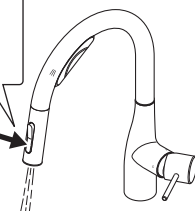
シャワー



ヘッドを持った状態で切換操作



ストレート吐水



ストレート吐水時に気泡が混じることがありますが、異常ではありません。

使いかた

6 操作音の消音設定方法

センサーに10秒間手かざします。

操作音の消音設定の切換ができます。

消音設定時に同じ操作を行うと、設定が解除されます。

※乾電池の残量がなくなった場合の警告音は消音になりません。

※乾電池の交換を行うと消音設定が解除されます。再度、設定をしてください。

※浄水センサー・湯水センサーのどちらを使用しても消音設定の切換ができます。



使いかた

7 浄水カートリッジの交換

カートリッジ交換表示の点滅

浄水カートリッジの交換時期が近づくと、「カートリッジ交換表示(交換)」が橙点滅してお知らせします。

浄水カートリッジ交換時期の約1か月前から点滅し始めます。

交換時期の目安は、使用期間約12か月です。表示が点滅したら、浄水カートリッジを交換してください。

※感知しているセンサー側の「カートリッジ交換表示」が吐水している間、点滅します。



浄水カートリッジの使用期間と表示と操作音

		浄水カートリッジ使用期間					
		0~11か月		11~12か月 (交換予告)		12か月~ (交換推奨)	
吐水吐水中	表示	浄水側表示 消灯	湯水側表示 消灯	浄水側表示 消灯	湯水側表示 橙点滅	浄水側表示 消灯	湯水側表示 橙点滅
	操作音	吐水時：ピッ 止水時：ピピッ		吐水時：ピッ 止水時：ピピッ		吐水時：ピピピピピッ 止水時：ピピッ	
浄水吐水中	表示	浄水側表示 消灯	湯水側表示 消灯	浄水側表示 橙点滅	湯水側表示 消灯	浄水側表示 橙点滅	湯水側表示 消灯
	操作音	吐水時：ピー 止水時：ピピッ		吐水時：ピー 止水時：ピピッ		吐水時：ピピピピピッ 止水時：ピピッ	


※上記表は「カートリッジ交換表示(交換)」の表示・操作音についてのみ表示しております。「湯水吐水表示」および「浄水吐水表示」の表示・操作音については、「出し止め方法」(15~17ページ)をご参照ください。

使用かた

浄水カートリッジ交換方法

- 浄水器に同梱されている説明書を用意してください。
- 少量の水がこぼれる場合がありますので、ぞうきんやタオルを用意してください。

注意 浄水カートリッジの交換は、止水弁で必ず止水してから行ってください。浄水カートリッジをいきなりはずしますと、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

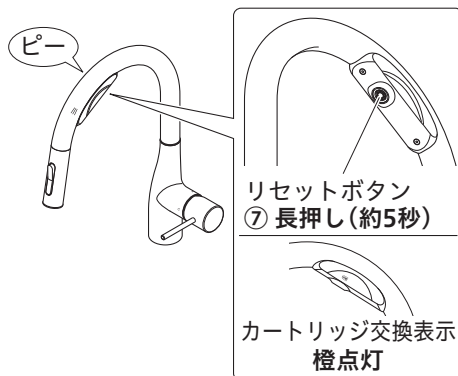
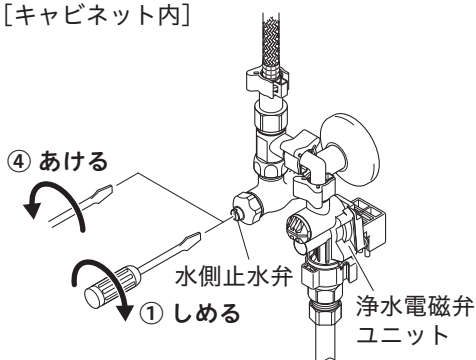
- ① 水側の止水弁をしめます。
- ② 浄水センサーに手をかざして水が出ないことを確認してください。
- ③ 新しい浄水カートリッジに交換します。(浄水器の説明書 参照)
※使用済みのカートリッジは、燃えないゴミとして各地域のごみ収集規定に従って破棄してください。
- ④ 水側止水弁を開き、流量を調節します。(止水弁による流量の調節方法 参照)
- ⑤ 浄水センサーに手をかざし、接続部から水漏れがないことを確認してください。
- ⑥ 浄水カートリッジ内の空気を抜き、受皿に取り付けます。(浄水器の説明書 参照)
- ⑦ リセットボタンを長押し(約5秒)して、浄水カートリッジ交換時期をリセットします。
「カートリッジ交換表示()」が点灯し、「ピー」と音が鳴るとリセット完了です。

注意 カートリッジ交換後、必ず交換時期をリセットしてください。交換時期をリセットしないと、正確な交換時期がわからなくなります。



使用かた

[キャビネット内]



|| 使いかた

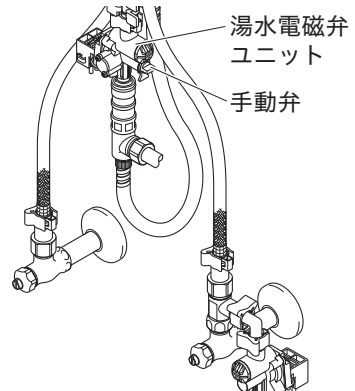
8 電池切れおよび故障時の応急処置

電池切れや万が一の故障時には、復帰するまでの応急処置として湯水電磁弁ユニットの手動弁を操作することで、センサーに関係なくレバーハンドルのみで湯水の吐水・止水ができます。

手動弁は非常時にのみ操作し、復帰後に戻してください。

手動弁を戻さないとセンサーで操作ができません。

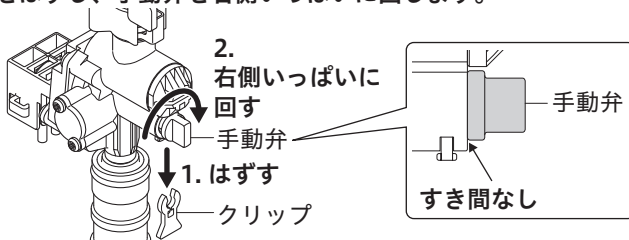
レバーハンドルで吐水・止水ができるのは湯水のみです。
電池切れおよび故障時に浄水は使用できません。



手動弁の操作方法

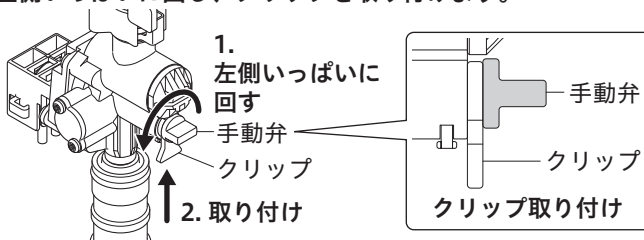
●非常時（電池切れや故障時）

クリップをはずし、手動弁を右側いっぱいに戻します。



●復帰時（通常の状態）

手動弁を左側いっぱいに戻し、クリップを取り付けます。



注意

高温の湯をお使いの後は手動弁が熱くなっている場合があります。

操作をする際は、やけどに注意してください。

手動弁は工具を使わず手でゆっくりと操作し、無理に回しすぎないでください。

故障時は、レバーハンドルまたは止水栓をしめて、取付店・販売店またはKVK修理受付センターに修理を依頼してください。

乾電池の交換方法

乾電池交換のお知らせ



乾電池の交換時期が近づくと、湯水・浄水の吐水時に吐水側の赤表示がします。

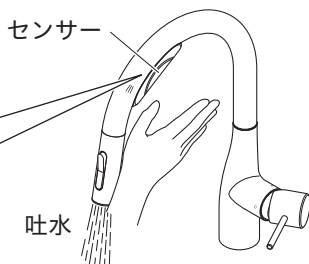
赤表示点滅開始後、お早めに新しい乾電池と交換してください。



※表示は10回点滅した後、止水するまでゆっくり点滅し続けます。

※赤表示点滅後もそのまま使用を続けると、表示が消灯し、センサーでの吐水・止水ができなくなります。(センサーに手をかざした時に警告音が鳴ります。)

故障ではありませんので、乾電池を交換することで再度ご使用いただけます。

乾電池残量減少		
	湯水吐水中	浄水吐水中
表示	 湯水センサー側 赤表示点滅	 浄水センサー側 赤表示点滅
操作音	ピッ	ピー




乾電池残量なし		
	湯水止水	浄水止水
表示	 湯水センサー側 消灯	 浄水センサー側 消灯
操作音	ピピピピピッ	



使いかた

乾電池の交換方法

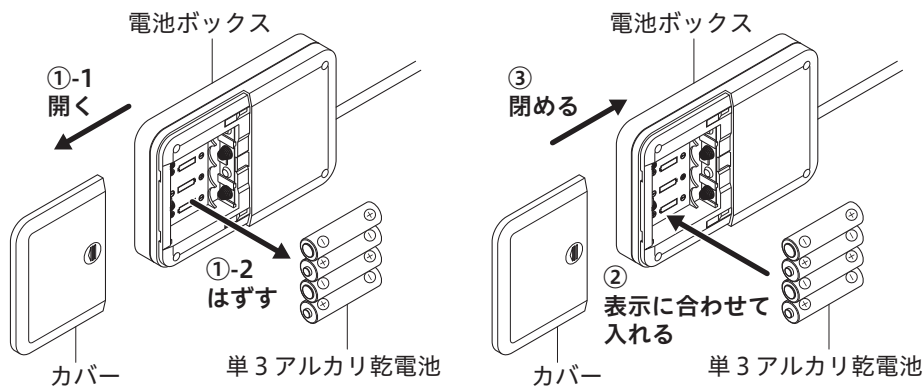
乾電池の交換方法

- ① 電池ボックスのカバーを  部を押しながらスライドさせて開き、使用済みの乾電池を取り出します。（使用済みの乾電池は不燃ゴミとして各地域のゴミの回収・収集規定に従って処理してください。）
- ② 電池ボックスに新品の単3アルカリ乾電池（4本）を入れます。

【お願い】・必ずアルカリ乾電池を使用してください。

- ・充電式の乾電池は使用しないでください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、または異なる種類の乾電池は使用しないでください。
- ・使い切った乾電池は早めに取りはずしてください。
- ・乾電池の向きは電池ボックス内の表示に合わせてください。
- ・乾電池に記載の注意事項をお守りください。

- ③ 電池ボックスのカバーを閉めます。



使いかた

凍結予防のしかた

- 水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。



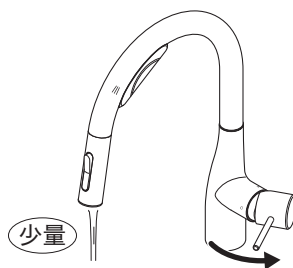
警告

解氷機を使用する場合は、水栓(給水・給湯管含む)には通電しないでください。

水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- ・水栓より少量の水を出しておきます。
- ・配管部などに布を巻きます。



使
い
か
た

日常のお手入れ

1 お手入れ方法

布やスポンジを使用したお手入れ方法

軽い汚れの場合

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

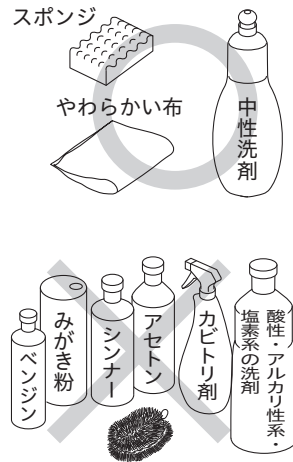
ひどい汚れの場合

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭きします。

使ってはいけないもの

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。

【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。



センサーのお手入れ方法

センサーの表面に水アカなどが付着すると感知しにくくなりますので、定期的に清掃してください。

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布で汚れを拭き取ります。

ひどい汚れの場合は、中性洗剤をぬるま湯で薄めたものに柔らかい布を浸し汚れを拭き取ったあと、洗剤が残らないように水拭きしてください。

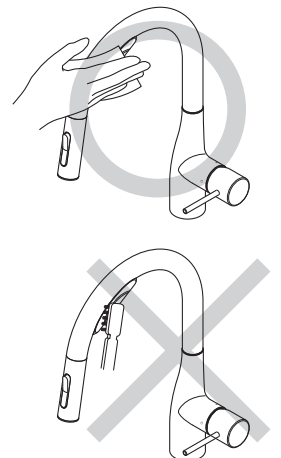
【お願い】・センサーの表面に傷をつけないようにしてください。

・レバーハンドルは閉じた状態で行ってください。

使ってはいけないもの

たわし・歯ブラシ等はセンサー表面に傷が入るおそれがありますので、使わないでください。

注意 お手入れの際はセンサー部へ直接湯水をかけないでください。誤作動の原因になります。



日常のお手入れ

2 電磁弁部ストレーナの清掃方法

電磁弁ユニットのストレーナは定期的に清掃してください。

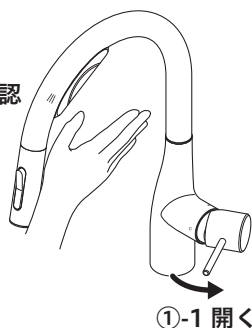
電磁弁ユニットのストレーナにゴミなどがつまりますと、吐水量が少なくなる場合があります。

湯水の吐水量が少なくなったと感じた場合は湯水電磁弁ユニット、浄水の吐水量が少なくなったと感じた場合は浄水電磁弁ユニットのストレーナを清掃してください。

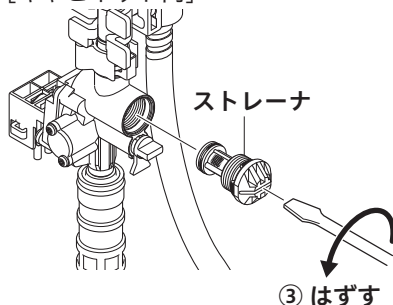
警告 ストレーナの清掃は、止水弁で必ず止水してから行ってください。ストレーナをいきなりはずしますと高温の湯が噴き出してやけどをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① レバーハンドルを開き、湯水の止水弁(2か所)または元栓をしっかりしめます。
- ② 湯水センサーに手をかざして感知させ、吐水しないことを確認します。
- ③ ストレーナを反時計回りに回し、取りはずします。
- ④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

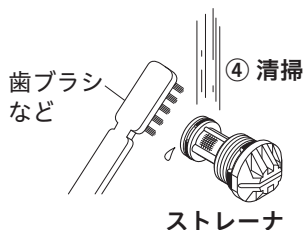
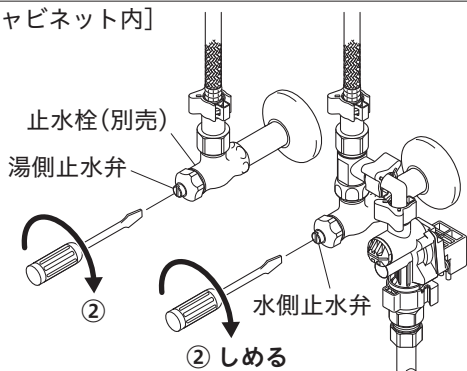
② 止水確認



[キャビネット内]



[キャビネット内]



お手入れ

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

注意 ストレーナは過剰に締め込み過ぎないでください。また、締め込みに電動工具を使用しないでください。破損して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

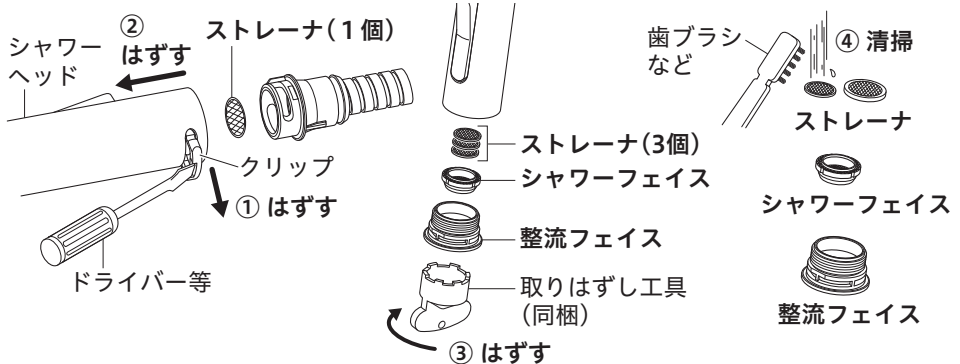
日常のお手入れ

3 シャワーフェイス・整流フェイス・ストレーナの清掃方法

シャワーヘッドのシャワーフェイス・整流フェイス・ストレーナは定期的に清掃してください。

シャワーヘッドのシャワーフェイス・整流フェイス・ストレーナにゴミなどがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れない場合があります。

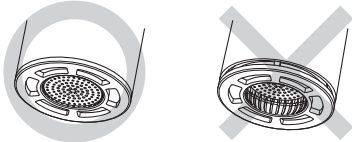
- ① ドライバーなどでクリップをはずします。
- ② シャワーヘッドをはずし、ストレーナ(1個)を取りはずします。
- ③ 同梱の工具で整流フェイスをはずして、シャワーフェイス・ストレーナ(3個)を取りはずします。
- ④ シャワーフェイス・整流フェイス・ストレーナをブラシで水洗いします。



〈清掃後の組み立て〉

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

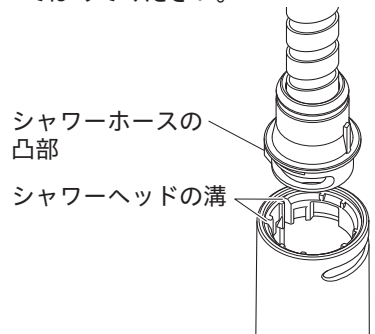
- ・整流フェイスを締め込むときは、止まるまで締め込んでください。(約3回転程)
- ・組立後、シャワーフェイスが下図のように取り付けられていることを確認してください。



シャワーフェイスが奥まで組み込まれていないため、再度、シャワーフェイスと整流フェイスの位置を合わせてはめ直してください。

- 【お願い】 止まるまで締め込んだら、それ以上締め込まないでください。破損するおそれがあります。締め付け不足の場合、漏水や切換不良の原因になります。

- ・シャワーホースをシャワーヘッドにはめる際は、位置決めがあります。シャワーホースの凸部をシャワーヘッドの溝に合わせはめてください。



定期的な点検



注意

安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検を行ってください。
漏水などによる財産損害発生のおそれがあります。

水受けトレイ(1か月に1回)

- 水受けトレイの設置をしてください。

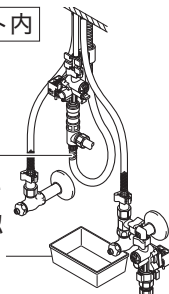
水受けトレイは、シャワーヘッドを引き出してお使いの場合にシャワーホースを伝って落ちる水を受けるためのものです。

(水受けトレイがない場合は、別途お求めいただけます) トレイ内に水が溜まっていないか確認してください。溜まっている場合は水を捨ててください。怠りますと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

キャビネット内

ホース

水が溜まってい
ないか確認
水受けトレイ



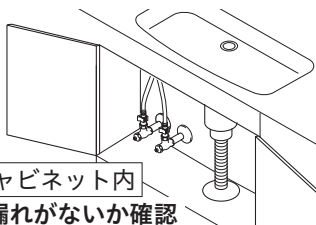
配管まわりの水漏れ(1か月に1回程度)

- 配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するため、配管まわりの点検を行ってください。

キャビネット内

水漏れがないか確認



水栓取り付け部のがたつき(1か月に1回程度)

- 水栓取り付け部のがたつきがないか確認してください。
がたついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

がたつきがないか確認



お手入れ

吐水口の回転(1か月に1回程度)

- 時々、吐水口を左右に動かしてください。

吐水口を長期間回転させずに使用すると回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなることがあります。無理に回そうとすると水漏れの原因になります。

吐水口

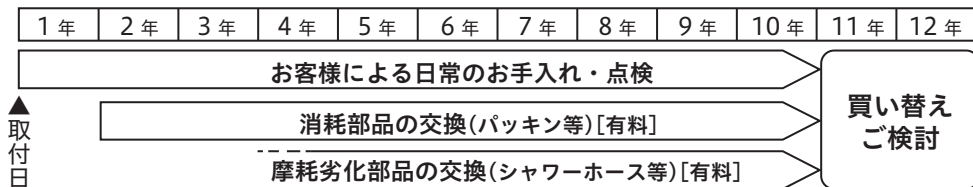
時々、左右に動かす



定期的な部品交換

安全・快適にご使用いただくために、定期的に部品交換を行ってください。
(部品は水栓の種類によって異なります。)

使用年数



部品の交換

部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。

・摩耗劣化部品の例(水栓の種類によって異なります)

例)カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等



注意

安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。

逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は12ページ「各部の名称」をご覧ください。)

部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

補修部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後12年です。

お手入れ

故障かなと思ったら

次のような現象は故障ではありません。
修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ
吐水しない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	14ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	レバーハンドルは開いていますか	レバーハンドルを開ける	15ページ 「出し止め方法」
	センサーの表面に汚れや泡、水滴が付いていませんか	汚れや泡、水滴を取る	27ページ 「お手入れ方法」
	センサーの前に障害物はありませんか	障害物を取り除く	17ページ 「出し止め方法」
	乾電池は電池ボックスに正しく取り付けられていますか	乾電池を正しく取り付け	25ページ 「乾電池の交換方法」
	コネクターは確実に接続されていますか	コネクターを確実に接続する	施工説明書15ページ 「コネクターの接続」
	断水中ではありませんか	回復するまで待つ	—
	電池切れではありませんか	乾電池を交換する	24～25ページ 「乾電池の交換方法」
	ストレーナにゴミ等がつかっていませんか	ストレーナを清掃する	28ページ 「ストレーナの清掃方法」
	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスは凍っていませんか	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスにぬるま湯をかける	—
直射日光は当たっていませんか	直射日光が当たらないように遮光方法を検討してください	—	
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	14ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスにゴミ等がつかっていませんか	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスを清掃する	28～29ページ 「ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスの清掃方法」
	ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—

こんなときは

故障かなと思ったら

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ
吐水量が少ない	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスは凍っていませんか	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスにぬるま湯をかける	—
すぐに止まる	センサーに3秒以上手をかざし続けていませんか	水が出たら手をセンサーから引く	15ページ 「出し止め方法」
出たり止まったりを繰り返す	センサーの表面に汚れや泡、水滴が付いていませんか	汚れや泡、水滴を取る	27ページ 「お手入れ方法」
吐水口から水滴が数滴落ちる	内蔵の圧力逃し弁(※)の作動によるもので、故障ではありません ※圧力逃し弁とは、他所の水栓や洗濯機の使用などで起こる急激な水圧変動から、水栓を保護するための弁です		—
止水しない	センサーの表面に汚れや泡、水滴が付いていませんか	汚れや泡、水滴を取る	27ページ 「お手入れ方法」
	センサーの前に障害物がありますか	障害物を取り除く	17ページ 「出し止め方法」
	直射日光は当たっていませんか	直射日光が当たらないように遮光方法を検討してください	—
	電磁弁ユニットの手動弁が右側に回っていませんか	手動弁を左側いっぱいに戻す	23ページ 「電池切れおよび故障時の応急処置」
レバーハンドルを開いてもセンサーで吐水する	浄水センサーに手をかざしていませんか	浄水センサーはレバーハンドルを止水位置にしてもセンサーに手をかざすと吐水します	15ページ 「出し止め方法」
吐水が飛び散る	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスにゴミ等がつかっていませんか	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスを清掃する	28～29ページ 「ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスの清掃方法」
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	14ページ 「止水栓による流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	14ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—

こころなときは

故障かなと思ったら

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水弁は十分に開いていますか	止水弁で湯と水の量が同じになるように調節する	14ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	
	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスを清掃する	28～29ページ 「ストレーナ・整流フェイス・シャワーフェイスの清掃方法」
	浄水センサーの浄水吐水表示(青表示)が点滅していませんか	浄水センサーは水のみ使用可能です。レバーハンドルで温度の調節はできません	18ページ 「温度調節方法」
吐水クリック手前で使用すると、 ・吐水が乱れる ・湯側にしても低温しか出ない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	14ページ 「止水栓による流量の調節方法」 18ページ 「量の調節方法」
ホースをスムーズに引き出せない	シャワーホースが電磁弁ユニットなどに引っかかっていませんか	シャワーホースの引っかかりを直す	施工説明書13ページ 「シャワーホースの接続」
操作音が鳴らない	消音設定になっていませんか	消音設定を解除する	20ページ 「操作音の消音設定方法」
ラジオ等の通信機器にノイズが入る	水栓の近くに置いてありますか	通信機器を水栓から遠ざける	—

●以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、レバーハンドルまたは止水栓をしめてください。

水栓本体内部のメンテナンスをする場合



注意

- ・修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因となります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。
- ・メンテナンスは、本体を保持しながら行ってください。シャワーヘッドや吐水口やレバーハンドルを持ってはずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

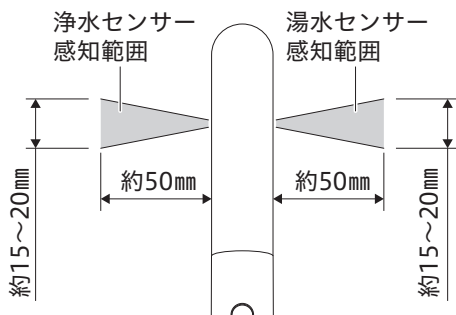
こころなときは

仕様

使用電源	アルカリ乾電池 単3×4本	
使用流体	1～80℃の水道水および飲用可能な井戸水 (氷結、ゴミ等の混入が無い事)	
使用環境	温度	1～40℃
	湿度	90%以下
給水圧力	最低必要水圧	: 0.1MPa (動水圧)
	最高水圧	: 0.75MPa (静水圧)
電源コード長さ	1.5m	
感知距離	約50mm (白紙: 約60mm)	※感知範囲は下図を参照してください。
乾電池寿命	120回/日の使用頻度として約2年(省エネモード19時間/日使用時) (Panasonic製 EVOLTA使用、使用環境室温20℃時) 使用環境によって乾電池寿命は変動します	

※同梱されている乾電池は動作確認用です。お早めに新しい乾電池にお取り替えください。

[感知範囲]



省エネモード

使用間隔が20分以上あると、省エネモードに切り替わり、センサーの応答速度が遅くなります。一度使用すると省エネモードは解除され、元の応答速度に戻ります。

アフターサービス

保証書（この説明書の裏表紙が保証書になっています）


- この商品は保証書の内容に従って保証されています。
取付日、販売店名が記入してあることを確認してください。
また、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、取付日から2年間です。

保証について

- 保証期間中は
保証書の内容に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。
- 保証期間を過ぎている場合
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください

- 修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

 **0120-474-161** 受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00

携帯電話からは、 **0570-021-110**をご利用ください。（受付時間 9:00～17:00）

※通話料がかかります。

※固定電話からはつながりません。

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。

[シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

技術料 …診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用

部品代 …修理に使用した部品代

出張料 …製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご依頼ください

 **0570-099-552**

受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00（夏期休暇、年末年始を除く）

こんなときは

Memo

Memo

KVK 水栓金具保証書 用途 一般家庭用

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

取付日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示の上、KVK 修理受付センターに修理をご依頼ください。

取付日、販売店等の記入漏れがありますと無効になりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

品番 KM6092DEC		保証期間	2 年	取付日	年 月 日
お客様	お名前	ふりがな			
	ご住所	〒□□□-□□□□			
	電話	()			
	ご販売店	店名	〒□□□□-□□□□ (印)		
		電話	()		

- 取扱説明書、取扱表示プレート等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で表記の保証期間内に不具合の生じた場合は無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - 一般家庭用以外（業務用等）でご使用になった場合の不具合。
 - 専門業者や施工説明書等に基づかない施工に起因する不具合。
 - 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理や改造に起因する不具合。
 - 専門業者以外による移動・修理・分解等に起因する不具合。
 - 建築躯体の変形等商品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
 - 表面仕上げの経年変化、使用に伴う摩耗等により生じる外観上の不具合。
 - 特殊な水質、気温、その他特殊な環境下での使用における不具合。
 - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆等の異物流入および水あかの固着に起因する不具合。
 - 凍結に起因する不具合。
 - こまパッキン等の消耗部品の消耗・劣化に起因する不具合。
 - ねずみ等の小動物や昆虫等の行為に起因する不具合。
 - 火災、地震、風水害、その他の天災地変または戦争、暴動等破壊行為による不具合。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にお客様名、販売先名および取付年月日の記載がない場合。
 - 浄水器水栓において、浄水カートリッジ（消耗品）は保証の対象外になります。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan) (本書仅限于日本国内有效。)
- この保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保存してください。
- この保証書において無料修理をお受けになる場合は、KVK 修理受付センターにご連絡ください。

●サービスメモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は取付店・販売店またはKVK 修理受付センターにお問い合わせください。